

府中市における協働推進の現状と課題

1. なぜ協働が必要か

- 生活構造や価値観の多様化、少子・高齢社会への移行、地方分権の流れ、市民が行政に求めるニーズの多様化・拡大化
- NPO・ボランティア団体などの活動の活発化、その役割と重要性の拡大
- 近年、地域社会の課題が複雑かつ多様化する中で、これらの課題に行政だけでは十分に対応することができない場合が増えてきた。

→市民、自治会などの地域コミュニティ、NPO、事業者、市などの地域の構成主体が、まちづくりの方向性を共有し、それぞれの持てる力を発揮し、お互いに連携、協働することが必要。

→市は、市民の負託を受けた公共の担い手として、公共の核としての役割を担い、市民がまちづくりの主体としての役割を担うことができるよう、協働のまちづくりを一層推進していく。

協働：異なる主体が、相互の立場や特性を認めつつ、対等の立場で、共通する課題の解決や社会的目的の実現に向け、協力することと定義する。

(府中市NPO・ボランティア活動及び協働の推進に関する指針 平成15年8月策定)

2. 基本方針策定の経緯と位置づけ

府中市では、平成15年8月に「府中市NPO・ボランティア活動及び協働の推進に関する指針」を策定しています。指針策定からは10年が経過しようとしていますが、地域活動を取り巻く環境が変化中、市内で活動するNPO法人数が増加する一方で、活動場所の不足や、若者や転入者の参加の伸び悩みなど、新たな課題も生じています。

市では、第6次府中市総合計画(案)(計画期間：平成26年度～平成33年度)において、基本理念の4つの視点の一つとして「市民が主役のまち」を掲げています。また、分野別の基本目標の中でも「市民との協働体制の構築」を施策として位置付け、自治会などの地域コミュニティの機能の充実や、NPO等の様々な市民団体地域を越えて交流し協力し合う市民社会ネットワークの形成、多様な主体がそれぞれの特性を活かしたネットワークを作り市と協働するなどが、めざすまちの姿として示されています。

そこで、これまで以上に一層協働を推進していくために、現行の指針を発展的に継承させ、新たに市民協働を推進するための基本方針を策定します。

3. 府中市における協働推進の取組

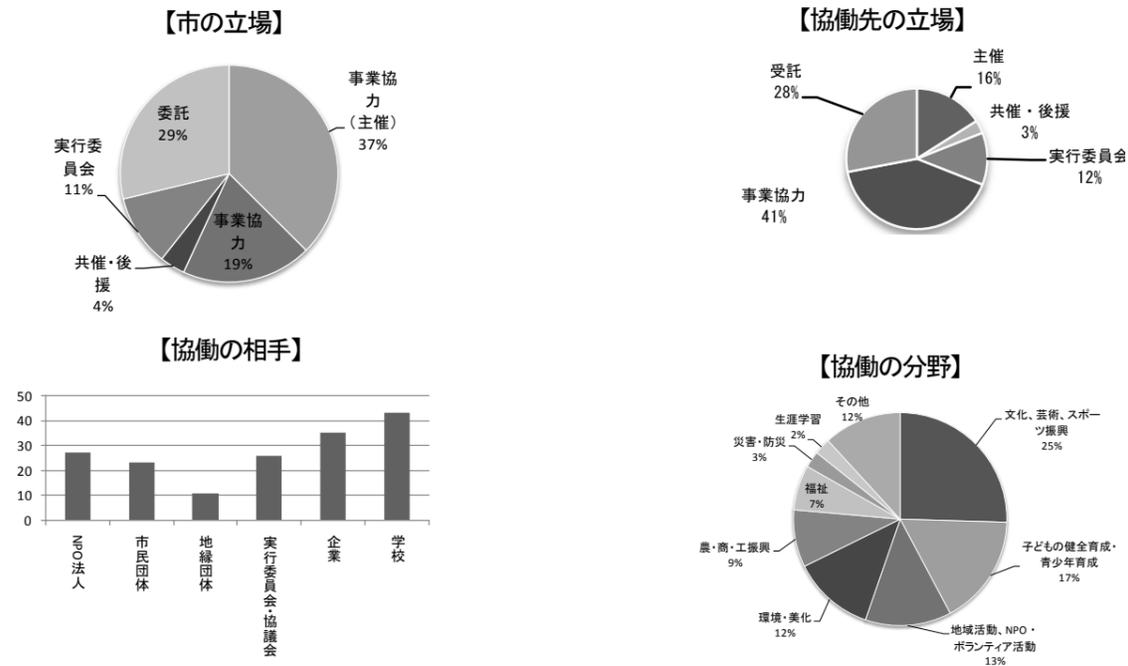
府中市では、NPO・ボランティア団体、企業、学校、行政等との間の協働の推進を図るため、平成14年8月に府中NPO・ボランティア活動センターを開設しています。平成15年8月には「府中市NPO・ボランティア活動及び協働の推進に関する指針」を策定し、平成17年1月には「NPOとの協働推進マニュアル～職員用～」を作成しました。団体への活動支援としては、センターへの団体登録制度や、市民提案型市民活動支援事業などを行ってきています。

そして、第6次総合計画がスタートすることに合わせて、これまでの指針等を踏まえ、協働の実態を把握するための調査として、職員に対する意識調査、NPO・ボランティアとの協働に係る調査、企業・学校との協働調査、市民意識調査などを実施しました。

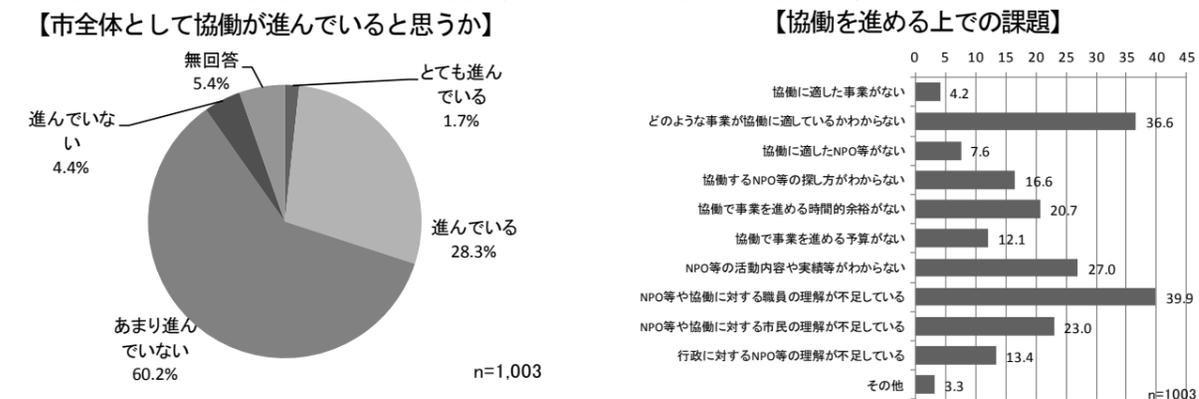
4. 府中市の協働に関する取組の現状・課題

(1)取組の現状

①「NPO・ボランティア、企業・学校との協働に係わる調査結果」(平成24年度実績:協働事業数161件)



②「協働に関する職員意識調査」(平成25年実施、1,003件回収(対象:全正規職員1,225人))



(2)取組の課題(「協働に関する職員意識調査」より)

職員	必要性は強く感じているが、よくわからない、庁内でも浸透していないとの認識がある
<ul style="list-style-type: none"> ・「指針」や、「マニュアル」についての認知度は低い。 ・「協働」については、なんとなく理解しているレベル。担当業務でもあまり意識されていない。 ・協働事業における不満：「実質、市主体の事業となった」「市単独より時間と手間がかかった」 ・市全体としての協働は、あまり進んでいない印象 <ul style="list-style-type: none"> → その理由：「庁内に協働意識が浸透していない」 ・協働の必要性は強く認識されている <ul style="list-style-type: none"> → 必要と思う理由：「市だけの対応が難しい課題の増加」、「市民のまちづくりへの参加意欲を高めるため」 → 必要と思わない理由：「協働の中身がよくわからない」「NPO等の能力がわからない」。 ・進める上での課題：「NPO等や協働に対する職員の理解が不足」「どのような事業が協働に適しているかわからない」。 ・進めるための有効な取組：「職員への意識啓発」「庁内における情報の共有化」「庁内協働推進体制の構築・強化」「職員研修の実施」 	